

教育ニュース

VOL.9
2022.10.19

10月14日（金）レベルII研修

「フィジカルアセスメント：脳神経」を実施しました。

脳神経外科・脳神経内科病棟の副看護師長から脳神経における解剖生理やフィジカルイグザミネーションについて講義を受けたあと、事例を用いてグループワークを行いました。



グループワーク

事例

図書館での仕事に、突然頭痛と吐き気が出現し嘔吐した。その後、意識レベル低下をみとめたため同僚が救急車を要請した。

Q1考えられる疾患は？

脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血、心筋梗塞、低血糖、てんかん、中毒、熱中症、イレウスなど

Q2必要な観察項目、検査は？

バイタルサイン、意識レベル、麻痺の有無、呼吸パターン、腹部の聴診、瞳孔・対光反射、けいれんの有無 採血、心電図、胸部レントゲンCT、MRIなど

Q3観察・検査結果から患者には何が起こっているか

くも膜下出血

Q4患者に必要なケアは？

血圧の管理、呼吸管理、安静を保つ
異常の早期発見など

考えられる疾患から血液データでは血糖や電解質、CKなど知りたいな。



研修生は、少ない情報から何が考えられ、どんな観察、検査が必要なのかを考えることができました。レベルIでは呼吸、レベルIIでは6月に循環、そして今回、脳神経のフィジカルアセスメントを学びました。

その学びを日々の看護実践で活かしてほしいと思います。現場でも継続した指導をお願いします。

また10月21日～12月28日までに救急外来でのシャドー研修を予定しています。研修までに看護技術の復習なども行い当日は積極的に研修に参加できるよう動機づけをお願いします。